



町長の行政報告を お知らせします

八峰町3月議会定例会が3日から18日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、平成28年度当初予算、平成27年度補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

雇用の場確保を目指し 県との協働プログラムが承認

秋田県市町村未来づくり協働プログラムについてですが、1月15日、秋田県市町村会館において、本町の「おがる八峰しいたけプロジェクト」について、あきた未来づくり本部会議が開催され、本部長である秋田県知事に対し、プレゼンテーションを行うとともに、事業内容に関する協議が行われました。



協議の中で、佐竹知事からは、「八峰町プロジェクトについては、大いに期待しており、「白神」の清浄なイメージ、健康志向、安心・安全、を前面に出して

3月議会定例会に 提出した主な議案

- 八峰町情報公開条例等の一部を改正する条例制定について
 - 八峰町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について
 - 八峰町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
 - 八峰町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
 - 八峰町立八森体育館条例の一部を改正する条例制定について
 - 八峰町税条例の一部を改正する条例制定について
 - 八峰町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
 - 八峰町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
 - 八峰町立八森体育館条例の一部を改正する条例制定について
 - 八峰町税条例の一部を改正する条例制定について
 - 新町まちづくり計画（市町村建設計画）の変更について
 - 八峰町過疎地域自立促進計画の策定について
 - 平成27年度一般会計補正予算1億3,312万3千円を減額追加した主な歳出
 - 地方創生加速化交付金事業関係、国民健康保険特別会計繰出金、情報セキュリティ強化対策備品購入費、給与改定
 - 平成28年度八峰町一般会計及び各特別会計予算
- ※内訳は8～9ページ参照



指導に当たった、料理研究家の先生からは、エゴマのにおいも食欲をそそり、味も申し分ない。今までに、食べたことのない料理で、多少色合いが悪いものの改良を加えれば、自然食品・健康ブームに乗せることも出来、売れる可能性は大

頑張つて頂きたい。」などの前向きな発言もあり、八峰町プロジェクトは原案のとおり策定されました。本プロジェクトの事業期間である平成28年度から平成31年度までの4年間、県交付金や地方債を充当しながら、「地域定着を促進するための活動を支援するとともに、これまで町が特産化を進めてきた菌床しいたけの実践研修施設等を整備することにより、新規就業者の育成と雇用の場の確保を推進する。」などの本プロジェクトの目標を達成できるよう、県、関係団体、関係住民等と連携し、集中的に事業を推進したいと考えています。

町社会福祉協議会が 公共交通空白地の「足」に

公共交通空白地有償運送事業についてですが、1月21日、公共交通空白地域の交通手段の確保を図るため、本町を営業区域に含むバス、タクシー等関係交通機関、秋田運輸支局、有償運送運営団体、地域住民などの代表者にお集まりいただき、「八峰町公共交通空白地有償運送運営協議会」を開催しました。協議では、本事業の経緯を説明した後、空白地有償運送事業の運営規定等について協議し、運営主体を八峰町社会福祉協議会とし、発地・着地は大信田、埴、仲村、横内の各自治会地内とすることで了承されました。事業の実施には、専用車両や運転者の確保とともに、地域住民に対するPR活動も必要でありますので、地方創生加速

きい。何よりも、このユニークな料理の名前を生かさなない手はない。という講評を得ています。今後は、試食と協議を重ね、レシピを作成し、八峰町の新たな加工食品として、県内外に流通させることを目標に取り組みむこととしています。なお、加工食品の開発は、年に一種類ほどの完成を目標に行います。

平成28年度産米の生産数量目標 前年から22トン減少

平成28年度産米の生産調整についてです。米の需要が毎年8万トン減少していることにより、依然として過剰在庫の状況が見込まれることから、生産数量目標は全国で前年比1・1%の減少、秋田県には前年比1・1%の減少で配分されました。昨年12月25日に県から市町村別生産数量目標が示され、町へは前年より0・4%、22トン少ない5,984トンが配分されました。これを受けて、2月4日に開催された八峰町農業再生協議会の臨時総会で配分方針等が協議され、水稲作付率は前年より0・1%減の56・1%に、転作率は前年より0・1%増の43・9%とし、農家に一律配分することに決定されました。

また、国では過剰在庫を過去の平均水準に近づけるための指標として、昨年に引き続き「自主的取組参考値」を設定し、更なる生産の削減を促すよう提示されたところですが、このため、農家へはこれまでの生産数量目標の配分と併せて、自主

化交付金事業で専用車両の確保や運転者の育成等を行うとともに、社会福祉協議会と連携し、関係自治会での説明会の開催など、事業の周知に努めたいと考えています。

町営診療所の診療体制 新年度から週4日体制に

医科診療所の常勤医師の確保については、まだ確保の目途がたつていませんが、これまで能代市山本郡医師会、能代山本医師会病院、秋田大学のご協力を得て非常勤医師体制で診療してきましたが、平成28年度から医師会病院、秋田大学からの医師の派遣を終了し、三木医師と椿坂医師の2人体制で診療を行うことで協議が整いました。月水金の午後本院において三木医師が担当し、火曜日午後瑞川分院を椿坂医師が担当します。木曜日が休診となり週の診療時間は減少しますが、担当する医師の固定化につなげたいと考えています。

はっぼううましブランド 町産食材で加工食品を開発

はっぼううましブランド推進協議会では、町の食材を使った加工食品の開発を進めています。具体的に、27年度は、峰浜地区に昔から伝わる郷土料理「なんばんべつちよ」

的取組参考値及びその面積換算値も通知することにしたところです。農業再生協議会では、2月26日に開催した農事班長会議で、生産数量目標の配分方針などについて説明し、各農家に配分したところです。今冬の除雪についてです。今年の冬は、真冬日も少なく、暖冬傾向が続く降雪、積雪とも例年に比べ非常に少ない年となつています。その結果水沢ダム付近など山間部を除けば除雪稼働日数も少ない状況であり、除雪費は1月31日現在で全体予算枠の34・3%の執行率となつていま

暖冬で除雪稼働日も少なく 予算執行率は1月末で34・3%

学校統合協議会について報告します。2月25日開催の第12回協議会では、統合小・中学校の校訓が主な議題でありました。校訓については各学校で検討することとしていましたので、学校長より決定した校訓とその意味が報告され、協議会において承認されました。

学校統合協議会で校訓決まる 統合小中学校にふさわしいものに

八峰中学校は「進取創造」。峰浜小学校は「元氣 根氣 勇氣」であり、いずれも新生小・中学校にふさわしい立派な校訓です。